

はじめに

本書は農林水産省補助事業「平成 19 年度外食産業・農業等連携ビジネス確立支援事業食材情報提供推進調査」の成果を取りまとめたものです。

現在主要野菜の需要量のうち加工・業務用需要は全体の 5 割を超えるとされており、国産野菜の生産流通を考える上で外食・中食産業の役割は益々大きくなっております。

一方、外食産業側でも外食産業市場の「成熟化」が進行しており、新しい差別化商材としての野菜の重要性が増している状況にあり、「旬」「季節性」「地産地消」「地域性」「希少性」など個性的な野菜が求められる状況であります。

そこで本書では、外食企業食材仕入担当者に向けた情報発信を目的に全国の都道府県農政部のご協力の下、「地方野菜」のご紹介をさせて頂くことといたしました。

本書では「地方野菜」の定義は厳密に設けず、伝統的野菜を中心に新品種も含めたある程度地域性のあるものといたしました。

本書が外食産業と国内野菜生産の振興に役立てば幸いです。

最後に、本書の作成にあたり多大なご協力を頂いた都道府県、農協、直売所の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 3 月

財団法人 外食産業総合調査研究センター

ご利用上の注意

1. 本資料は基本的に、「野菜の地方品種」（農林水産省育種部、1980）に掲載されている地方品種を中心に各都道府県や農協等に照会し、ご提供いただいた現段階での地方野菜（新品種など各都道府県として特色のある品種も含む）の情報を編集したものです。
2. 品種・品目名については、各県で慣用的に使用されている名前を採用しておりますので、植物学上の呼び名と異なる場合があります。
3. 都道府県別mapについては、栽培されている代表地域を略地図中に指し示しておりますので、その地図中で指し示した場所以外での栽培や、若干ずれた地域で栽培されている可能性があります。
4. 種子の入手先、問い合わせ先については、先方のご都合により変更、取りやめになる場合もございますので、ご了解下さい。